【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成25年11月7日(2013.11.7)

【公表番号】特表2013-506460(P2013-506460A)
【公表日】平成25年2月28日(2013.2.28)
【年通号数】公開・登録公報2013-010
【出願番号】特願2012-531392(P2012-531392)
【国際特許分類】
　Ａ６１Ｍ　　5/24　　　(2006.01)
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｍ　　5/24

【手続補正書】
【提出日】平成25年9月19日(2013.9.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　カートリッジ（４）を薬物送達デバイス（１）用の本体（２）に固定する方法であって、
　以下の
　－デバイス（１）の組立中にカートリッジ（４）と本体（２）の間の偶発的相対運動を防止するために、カートリッジ（４）を解除可能な連結部（７）によって本体（２）に固定する工程；
　－カートリッジ（４）が恒久的に本体（２）に固定されるように、解除可能な連結部（７）を解除不可能な連結部に不可逆的に改造する工程；
を含んでなり、
　ここで解除可能な連結部（７）は連結手段（９）を含んでなり、そして
　ここで解除可能な連結部（７）を改造することは、連結手段（９）の少なくとも一部の変形を含んでなる、上記方法。
【請求項２】
　カートリッジ（４）が、異なる固定位置において解除可能な連結部（７）によって本体（２）に固定可能である、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
　駆動部材（６）は本体（２）中に保持され、そしてピストン（５）はカートリッジ（４）中に保持され、そしてカートリッジ（４）及び駆動部材（６）は、解除可能な連結部（７）が改造される前に、ピストン（５）が駆動部材（６）に隣接するように、互いに調整される、請求項１又は請求項２に記載の方法。
【請求項４】
　ピストン（５）が駆動部材（６）に隣接するかを検出し、そしてピストン（５）及び駆動部材（６）の隣接後に解除可能な連結部（７）を改造する工程を含んでなる、請求項３に記載の方法。
【請求項５】
　解除可能な連結部（７）を改造する工程が、連結手段（９）の少なくとも一部に接着剤を塗布すること含んでなる、請求項１～４のいずれか１項に記載の方法。
【請求項６】

請求項１～５のいずれか１項に記載の、カートリッジ（４）を薬物送達デバイス（１）用の本体（２）に恒久的に固定する方法を含んでなる、薬物送達デバイス（１）を組み立てる方法であって、

薬物送達デバイス（１）を組み立てる間に解除可能な連結部（７）の改造が行われる、方法。

【請求項７】

カートリッジ（４）、本体（２）、第１の連結手段（９）及び第２の連結手段（１７）を含んでなる、薬物送達デバイス（１）の組立体であって、第１の連結手段（９）及び第２の連結手段（１７）が、デバイス（１）の組立中にカートリッジ（４）と本体（２）の間の偶発的相対運動を防止するように、カートリッジ（４）を本体（２）に解除可能に固定するのに適する、解除可能な連結部（７）を形成するために機械的に協動するように構成され、

第１の連結手段（９）及び第２の連結手段（１７）が、互いに不可逆的に解除不能に固定され、第１の連結手段（９）及び第２の連結手段（１７）の協動により達成可能な解除可能な連結部（７）が、カートリッジ（４）を本体（２）に不可逆的に固定するための改造される解除可能な連結部であり、そして改造される解除可能な連結部（７）が恒久的にロックされるねじを含む、薬物送達デバイス（１）用の組立体。

【請求項８】

第１の連結手段（９）及び第２の連結手段（１７）が、カートリッジ（４）を本体（２）に不可逆的に固定する、請求項７に記載の組立体。

【請求項９】

解除可能な連結部（７）が調整可能な連結部であり、そしてカートリッジ（４）及び本体（２）が材料ロッキング連結部によって互いに不可逆的に固定される、請求項７又は８に記載の組立体。

【請求項１０】

カートリッジ（４）は、カートリッジ（４）が本体（２）に対して軸方向の運動に抗して不可逆的に固定されるように、本体（２）に不可逆的に固定される、請求項８又は９に記載の組立体。

【請求項１１】

駆動部材（６）が本体（２）中に保持され、ピストン（５）がカートリッジ（４）中に保持され、そして駆動部材（６）がピストン（５）をカートリッジ（４）に対して軸方向に変位させるように構成され、そして駆動部材（６）がピストン（５）に隣接する、請求項７～１０のいずれか１項に記載の組立体。

【請求項１２】

改造される解除可能な連結部（７）が恒久的にロックされるねじを含む、請求項７～１０のいずれか１項に記載の組立体。

【請求項１３】

カートリッジホルダ（３）を含んでなる、請求項７～１２のいずれか１項に記載の組立体であって、カートリッジ（４）がカートリッジホルダ（３）中に保持され、そしてカートリッジホルダ（３）が第１の連結手段（９）及び第２の連結手段（１７）によって不可逆的に本体（２）に固定される、上記組立体。